



2023 年、新しい年が始まりました。一年で最も寒い時期を迎えていますが、水仙や寒椿はきれいに花を咲かせています。今年も皆さんに「素敵な本との出会い」がありますように・・・。



## 江戸川乱歩 作家デビュー 100 周年



本名、平井太郎。三重県名張市出身。貿易会社や古本商、新聞記者などを経て、1923(大正12)年、雑誌「新青年」で「二銭銅貨」を発表し、作家デビューをします。江戸川乱歩というペンネームはアメリカ人作家エドガー・アラン・ポーからきています。

### 『文豪誕生 7人の文豪たちのデビュー作・出世作』より 「二銭銅貨」

芝区にある工場の給料日、新聞記者に変装した紳士泥棒が現金5万円の入った給料袋を盗みます。刑事の捜査によって泥棒は捕まりますが、盗まれた給料袋の手がかりはなく、工場の支配人は、その給料袋に5千円の懸賞金をかけます。「私」と友人の松村はその事件に興味を持ち、二銭銅貨の秘密から謎の解明に迫ります。

### 『江戸川乱歩傑作選』より 「D坂の殺人事件」

乱歩が創作した名探偵明智小五郎の初登場作品。「私」がいつも通う喫茶店で向かいの古本屋を眺めていると、知り合いの明智小五郎と会います。店の本泥棒を目撃し、二人で行ってみると、店の奥で美人妻の死体を見つけます。密室殺人だとわかり捜査は難航しますが、そこから「私」と明智の推理が始まります。

### 『新潮日本文学アルバム 江戸川乱歩』

平井太郎として誕生してから、江戸川乱歩の名で名声を得て、日本の探偵小説や推理小説のために尽くしてきた足跡を、多くの写真や書簡、当時の新聞記事などと共にたどっていった伝記的作品です。

さいとうりゅうすけ

## 斉藤 隆 介(1月生まれ)

日本の児童文学作家。明治大学を卒業後、北海道や秋田で新聞記者をしながら執筆活動をする。1968年に短編童話集『ペロ出しチョンマ』で小学館文学賞を受賞している。その頃に千葉県の四街道に住んでいた。

### 『ペロ出しチョンマ』

ちょんまこと長松は、日頃から舌をペロッと出し、眉を八の字にして妹や周りの人を笑わせていました。長松の父が將軍の税の取り立てについて直談判に行き、一家が磔の刑にされても、それは変わりませんでした。



### \* 職業調べ 作家・編集者 \*

#### 『ポプラディア 仕事・職業2』

作家のページでは、あさのあつこさんのインタビューが紹介されています。漫画家や歌人・俳人、随筆家についての解説も、載っています。

#### 『編集者になるには』山口雄二：著

作家と比べると地味なイメージですが、縁の下のような出版業界には欠かせない職業です。狭き門である出版業界の実情についても詳しく書かれています。

この本、読んでみませんか？ (図書委員 綾太郎さんのおすすめ)

### 『さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』 小坂康之 林公代：著



廃校寸前の高校に赴任した新米教師の小坂康之が、十年以上かけて生徒と共に地元の名産である鯖を使った宇宙食を作るといふ、高校生たちのノンフィクション作品です。2022年の高校英語の教科書でも紹介されるくらい奇跡的な物語です。皆さんも、ぜひ読んでみてください。